

2023年度 第5回理事会報告

5月9日(木)ポールスター札幌にて吉田理事(コープさっぽろ)を議長に選出し、開催致しました。冒頭、中島会長の挨拶ののち、以下の事項について提案があり、承認されました。

【議決事項】

1. 日本生協連総会代議員の件
2. 2024年度各種会費・役員派遣(案)について
3. 第1号議案 2023年度活動報告承認の件
4. 第2号議案 2023年度事業報告書及び決算関係書類の承認の件
5. 第3号議案 2024年度活動計画及び予算決定の件
6. 第4号議案 役員報酬決定の件
7. 第5号議案 役員補充選任の件
8. 第6号議案 議案決議効力発生の件
9. 道連70周年記念事業計画及び予算(第1次案)

【審議事項】

1. LPガス問題の進行と今後の取り組みについて
2. ほっかいどう若者応援★学生PJの進行と2024年

度の活動計画について

3. こども食堂北海道ネットワーク事務局支援強化について
4. 協同組合ネット北海道2024年度計画について

【報告事項】

1. 第68回総会に向けてのスケジュール
2. 一般活動経過報告
3. 2023年度 第4回理事会議事録
4. 2023年度 4月期決算報告
5. 2023年度 第2回監事会報告及び監査報告書
6. 道連HPのトップ頁改変の件
7. ユニセフガザ緊急募金の取り組み結果(北海道ユニセフ協会振込分)
8. 北海道被爆者協会DVD「ノーモア・ヒバクシャの願い」作成・送付への協賛の件
9. 生活クラブ福祉基金への協賛及びNPO kacotamへの寄付の件
10. 北海道からの通知および、友好団体・協賛・後援の件
11. 日生協北海道・東北地連報告

成長した7年！ 繋ぐ！繋がる！支援組織へ！

こども食堂北海道ネットワーク事務局長 松本

子ども食堂って何だろう？どう広がっていくのだろう？協同組合としてどう関わっていくのが良いのだろう？と様々に論議し多様な形態！多様な価値観！を共感、共有しあう！緩やかなネットワークづくりを支援して早くも7年が経過し8年目に向かっております。道内の子ども食堂総数は既報の通り320ヶ所を超え、国内には9000ヶ所を超える“社会的存在”として急激な成長を遂げています。

エリア・地域で連携しあう子ども食堂へ！

広がり傾向としては、都市圏>地方の構造ですが北海道という地域性や資源を考える時、日本の食を支える農業や水産業、林業の生産地や地域での子ども真ん中

	2017年6月	2024年3月末
参加組織	17団体	150団体
支援事業者	5団体	100事業者

社会づくりが益々求められているのでは？と道内を巡って強く感じております。今年の「こども食堂北海道ネットワーク」の活動はまさにこの「エリア・地域」が自発的に連携する活動を支援できる！そんな組織に成長したいと考えております。釧路での子どもフェスティバルに続いて江別では子ども食堂運営団体が集って「江別フードサポートネットワーク」が結成され年間計画に基づいてフードパントリーが計画されています。道生協連に結集されます各生協様には引き続きムリのない範囲での支援を宜しくお願い申し上げます。



北海道の海をみんなで守ろう！

「海のクリーンアップ大作戦 Vol.4」大盛況！

〈望来会場〉コープさっぽろと
協同組合ネット北海道が共同開催！

5月15日(水)と18日(土)の2日間、北海道全道47箇所で開催された「海のクリーンアップ大作戦 Vol.4」は大盛況のうちに幕を閉じました。コープさっぽろと協同組合ネット北海道が共同開催した望来海岸には、今年は昨年を上回る350名近くの方が参加し、熱心に海岸線の清掃活動に取り組みました。



会場：望来海岸

全道では11,000名を超える参加者が集結！

全道47会場の参加者数は昨年を大きく上回り、11,000名を超えました。天候にも恵まれ、各地で気持ちの良い海のクリーンアップ日和となりました。

海を守るために、一人一人の意識と行動を！

海のクリーンアップ大作戦は、今後も継続して開催していく予定です。海をきれいに保つためには、一人一人の意識と行動が大切です。ぜひ次回の開催にご参加いただき、海を守る活動を一緒に推進しましょう！

SDGs に貢献する学生たち：

Hokkaido 海のクリーンアップ大作戦！

公立はこだて未来大学生生活協同組合
専務理事 本間 寛

先日、はこだて未来大学生協の学生委員47名と北海道函館教育大生協の学生委員28名が、Hokkaido 海のクリーンアップ大作戦！に参加し函館地区七重浜海水浴場のごみ拾いを行いました。参加は3回目となり、今年は事務局のお手伝いも引き受けさせて頂きました。

この取り組みは、地球規模での持続可能な開発目標（SDGs）の一環として、海洋環境の保護と浄化を目的としています。

このような取り組みは、学生たちにとって貴重な経験であり、また地域社会にとっても大きな利益をもたらします。SDGsの達成に向けた努力は、単なる理念だけでなく、実際の行動によって成果を上げることができることを示しています。学生たちは、地球環境に対する責任を果たすだけでなく、自らの成長と地域



会場：七重浜海水浴場

社会への貢献を実現するための積極的な一歩を踏み出すことができたと感じています。

また何もなければ寝て過ごしてしまいがちな休日に、朝早くから起き、太陽のもとで海のごみ拾いをすることの充実感を一人ひとりが実感することが出来たと思っております。どのような経験が自分自身の糧となり力となるかは自主的に行動した人でないと味わえない物です。

今後も、私たちは地球環境の保護と持続可能な開発に向けた活動を続けていきます。そして、私たちの行動が北海道や地球全体により良い未来をもたらすことを信じています。



はこだて未来大と教育大函館校の生協学生委員75名が参加